

高校生のみなさんからの手紙。

矢板市の高校生が、矢板市に対する思いなどを語るコーナーです。コロナ禍においても皆さん前向きに頑張っています！

10
通目



矢板高校3年
芳澤 杏音さん

市議会との意見交換会に参加するのは2回目でしたが、最初はとても緊張していました。議員の方から厳しいご意見を頂くかもしれないと心配していましたが、いざ始まると優しい方ばかりで心配は杞憂に終わりました。少人数のグループで意見交換を行ったので、一人ひとりの意見を存分に発表することができたと思います。「インスタ映えする場を作ってほしい。」など高校生らしい提案ができました。

私たちの意見が一つでも実現されたらうれしいと思っています。

矢板市議会へのご意見・ご提言はこちらまでお寄せください。いただいてから1か月を目安に矢板市議会HPでご回答いたします。

・FAX
0287-44-1100
・Email
gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp
・封書など
〒329-2192
矢板市本町5-4
矢板市議会事務局宛

次回3月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/21	22	23	24	25	26	27
					本会議 (開会)	
28	3/1	2	3	4	5	6
常任委員会・予算審査特別委員会分科会						
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
				本会議 (開会)		
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2/10(水)全員協議会
いずれの日も10:00開会(変更の場合があります。)

議会の動画を見る。

本会議の様様をインターネットで録画しています。市議会ホームページから見ることができます。

議会に参加する。

議会に対して、陳情等を提出することができます。また、ご意見・ご提言なども随時お寄せください。

議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症により、皆様の生活に様々な影響が及んでいます。議会運営についても、安心・安全の観点から市民の皆様には、傍聴をご遠慮いただく形とさせていただきます。今後についても、状況に応じて同様の措置を取らせていただく可能性もありますので、傍聴をご検討の際は事前に事務局までお問い合わせください。

+ 編集後記 +

今回の特集は高校生との意見交換会です。市内3校とも文化・スポーツ面での顕著な成績により「矢板」の名を全国に知らしめ、学生団体「Yaita All Directions」へのご参画、各種行事への協力・ご参加により、矢板市にご貢献くださっています。

次代を担う若い世代から活発な質問・意見が出され、大変有意義な意見交換会になりました。昨年までに頂いた要望のいくつかは市政に反映されております。

今回ご参加いただけなかった学生や市民の皆様のご意見はファクスやお手紙などでお寄せください。議会一丸となって「より良いまちづくり」にまい進してまいります。みんなで矢板を変えましょう！

(高瀬 由子)

※次号(第213号)は5月1日発行予定です。



議会広報広聴委員会

- ◎小林勇治
 - 櫻井恵二
 - 藤田欽哉
 - 石塚政行
 - 神谷 靖
 - 中里理香
 - 高瀬由子
 - 関由紀夫
 - 石井侑男
- ※◎は委員長、○は副委員長

矢板市議会だより

第212号

令和3年2月1日

第365回定例会

令和2年度一般会計補正予算案などを可決

高校生との意見交換会開催!!

高校生 × 議会

より良い矢板市へ。



目次

高校生と矢板市議会との意見交換会	2	矢板市議会ニュース	15
矢板市議会の審議結果	9	高校生のみなさんからの手紙。	16
市勢発展のために! 「一般質問」報告	12		

第212号
矢板市議会だより
2021年2月1日

編集/議会広報広聴委員会
発行/矢板市議会
印刷/株式会社グエスタ

〒329-2192 矢板市本町5番4号
Tel: 0287-43-6216 Fax: 0287-44-1100
Mail: gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp

矢板市議会 検索

高校生と矢板市議会との意見交換会

「高校生と矢板市議会との意見交換会」の様子、いただいたご意見を紹介します。

令和2年11月13日、27日の2日間、今年度で3回目となる「高校生と矢板市議会との意見交換会」を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期の授業時間が大きく削られてしまったこともあり、開催が危ぶまれましたが、高校側からの熱い要望もあり、何とか開催することができました。高校生の、貴重な「生」の意見を聞き、若者にも選んでもらえるまちづくりに生かすことを目的としています。

矢板東
高校
P2



矢板
高校
P5



第1回 矢板東高校



日 時：令和2年11月13日(金) 15:30~16:30
会 場：矢板東高校(東雲ホール)
参加者：40名(1年生各クラス代表、2年生)

今年は高校側からの希望により、新たな試みとして、高校生が「探求の時間」に市内でフィールドワークをした際に浮かんだ、さまざまな疑問・質問に、議員が答えるという方式となりました。以下にその質問と回答を掲載します(抜粋)。

1 農業・自然

Q 矢板で今一番必要なものは何だと思うか。

A 矢板市は豊富な水資源と大地で良質な水、稲の産地である。基本として、ICTなどを支援しながら、農業の経営規模拡大のため生産性を向上し、さらなる活性化を図ること。

Q 矢板にリンゴ園が多いのはどうしてか。

A 矢板市の特産品であるリンゴは、青森から技師を招きリンゴ栽培を始めたと言われる。農家が集まる場所がいくつかあり、農園ごとに育て方に個性がある。矢板の魅力を増加させるため、やいたブランドで県内一の生産量のリンゴをアピールしている。

Q 東日本大震災や今年の台風の時、わかば公園、れんげ公園、長峰公園が機能した例があれば知りたい。

A 東日本大震災では、避難所としての使用はなかったが、矢板市全域が1週間、また、東高校周辺を含む矢板東地区では約50日間断水した。公園では給水場のほか仮設トイレを設置し、地域住民の不便の解消を図った。今年の台風での使用例はない。

2 産業・河川

Q 矢板市が売りにしている産業と、これから力を入れたい産業は何か。

A 売りは、主に製造業・農林業で、製造業では業務用機械器具製造や食品製造として、酒・みそ・菓子・漬物・水産農産物加工品等。農林業では、米・イチゴ・リンゴ、木材・木製品等。力を入れたい産業は、雇用確保が多く見込まれる製造業やイチゴを中心とした果実栽培・園芸品の栽培。森林面積の大きさを利用した木材産業。

Q SHARPができて経済はどう変わったか。

A 昭和43年4月に操業開始して以来、矢板市の歳入合計は上昇し続けて、5年後の昭和48年度には、昭和43年度の約3倍の歳入合計となり、経済効果が顕著であった。ちなみに、昭和43年度の歳入合計は5億3463万円、昭和48年度歳入合計は17億7700万円であった。

Q 現在の川(内川)の整備にどれくらいの費用がかかっているのか。

A 県の河川課によると、今年の災害による復旧工事にかかる予算として約4億円が計上されている。今年は雨が多かったため工事着工はこれからとなる。工事は来年度までかかる予定。

3 商店街活性化・空き家対策

Q 商工会館周辺に新しくできた施設の経済効果は。

A 商工会館周辺には「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」と「にぎわい館」が造られた。前者は地域おこし協力隊やボランティアの皆さんによって、テレワーク可能でシェアキッチンを有した交流センターに生まれ変わった。後者は観光案内所、イベント開催所、スポーツカフェ、低価格宿泊所等のある総合施設である。コロナ禍で苦戦を強いられているが話題性は十分で、ハロウィーン他さまざまなイベントを開催して活性化の一助となっている。

Q 矢板市としての空き家への対策は。

A 平成29年から「空き家バンク」制度を開始し、空き家を売りたい・貸したい方と、空き家を買いたい・借りたい方との間に市が入り、仲介を行っている。栃木県宅地建物取引業協会と連携し、現在までに13件が成約済となっている。要望により毎年4月に固定資産税納税通知書送付時、空き家バンクのチラシを同封したり、国土交通省の「全国版空き家バンク」への登録等を活用して周知している。SNSなどの効果的活用なども調査研究している。



4 子育て・教育・国際交流

Q 矢板市に通学している高校生にどのような期待をしているか。また、高校が3つあることによる矢板市の経済効果は。

A 矢板市で過ごした時間を大人になった時に振り返って、良かったと思えるような時にしてほしい。大切な友に出会い自分が社会人になった時に誰よりも信頼できる仲間ができれば最高だと思う。本屋や文房具屋はもちろん、大型スーパーなども皆さんがお買い物に寄ってくれるとありがたいと思う。また、制服や運動靴なども地元の業者が各校に入っていると思う。そういった物の購入も業者にとって大変ありがたいことだと思う。

Q 子どもの安全性を守るためにどんな工夫をしているか。

A 通学路の安全点検を教育委員会、矢板警察署、各学校のPTAなどの各機関が連携して行ない、地図化している。また、それをもとに、改良工事等を計画的に行っている。

Q 海外から移住してきた人たちへの取り組みは。

A 市ホームページの多言語化などを行っている。矢板市では移住人口が少ないためあまり実績はないが、栃木県としての取り組みはいろいろある。

5 経済・まちづくり

Q 矢板市の財政は(もし矢板市にお金が入ったらどのような活動ができるようになるのか)。

A これまで予算が無くて実施が出来なかった事業、及び規模を縮小して部分的に行ってきた事業の実施(子ども医療費の現物給付、住環境の整備、庁舎をはじめ老朽化した建物の更新など)や借金の返済。または、市民の一体感や市民満足度の向上、これからの矢板市の発展につながるような夢のある新規事業(若い発想で皆さんに考えてほしい)。

Q 一番何に税金を使っているか。

A 令和元年決算は約145億2700万円。そのうち、民生費(児童手当・生活保護・医療費助成・障がい者福祉など)が約49億円(約34%)、教育費(学校教育や社会教育)が19億3700万円(約13%)、土木費(道路や橋の整備など)が約16億円(11%)。

Q (伝統的)なお祭りや行事はあるか。また、お祭りや行事を活性化させるために行っている工夫はあるか。

A 太々(だいだい)神楽(木幡神社・多賀三嶋神社・星宮神社)、各地域の夏・秋祭り、どんど焼き、ぼうじぼ等。皆さんの地域にも多くあると思うので調べて受け継いでいってほしい。負担が大きいと長続きしない。裏方も自ら楽しむ(楽しめる)ように工夫をする。是非皆さんも参加や参画し、受け継いでほしい。

参加した皆さんの感想・自由意見

●議員さんという、とても堅いイメージがあり、緊張していました。しかし、かなり優しく丁寧に接していただけたので、イメージも変わりました。

●ネットなどでは調べ学習に限界があるので、矢板市について詳しく知っている方に質問することができて、とても参考になった。疑問を解決することができ、とてもよい経験になりました。フィールドワークの重要性が良く分かりました。調べ学習への意欲がさらに湧きました。

●矢板市がこんなに多くの政策を行っているのをはじめて知りました。これらを市民の方々にもっと知って、活用していただければ良いな、と思います。これからの探求活動に役立つことばかりだったので、より良い提案ができるよう頑張りたいです!

●自分の住んでいる街には大きな祭りがある。街中の人たちがその祭りに注視し、協力し合う素晴らしいものがある。輝いて見えるものです。矢板市には街中の人が一つになって盛り上がるものがあるのか分かりませんが、人同士のつながりは大切なことだから、一つになれる要素があったら良いのではないかと思います。

第2回 矢板高校



日時：令和2年11月27日(金) 15:30~16:40
会場：矢板高校(視聴覚室)
参加者：20名(2、3年生)

生徒会、各学科・部活動代表の生徒さんで構成。第1部ではクイズ形式で議会の紹介と、昨年度の意見交換会後の議会の対応の報告を、第2部では少人数グループに分かれてテーマごとの意見交換を行いました。

テーマ① 高校生の立場で、まちづくりでやってみたいこと

【まちをきれいにしたい! 環境美化活動】

- 通学路のゴミを拾う。
- 矢板駅前の清掃。特に自販機前が汚い。
- 矢板駅前に花を植えてきれいにしたい。矢板高校で育てた花卉を植えるのも良い。
- 長峰公園をイルミネーションの場所にする。

【人口減少対策! まちのプロモーション】

- PRムービー
市内3校で制作し、広めたい。内容はそれぞれの高校の特長と矢板のセールスポイントをまとめる(例:矢板高校ならリンゴを使った食品づくり物語、黒カレーの製作秘話など)。
- 名所などの看板づくり。
- 矢板市内にインスタ映えスポットをつくる。
- 自分達の市をアピールできるチラシを作り、駅や電車に貼る。

【学習成果を生かしたい! 商品開発・販売】

- 名物をつくる。
矢板名物となるような食材や食品をつくる(学校の学習成果で貢献したい)。
- 矢板市の特産品などを販売したい(道の駅などにそのようなコーナーを設けてほしい)。
- 矢板市は農地が多いので、農産物の加工品などを全面的にプッシュしたほうが良いので矢板高校から発信していきたい。作った加工品を道の駅や矢板駅前等で販売したい。

【安心・安全活動】

- 地域の見回りやあいさつ活動をしていきたい。
- 交通安全運動に参加して、通行人に事故防止を呼び掛けたい。

【こんなイベントをやりたい!】

- リンゴ祭り
危ない部分もあるが、食べられないリンゴを使ったリンゴ合戦など、リンゴを絡めたオリジナリティある、矢板ならではのイベントを開催したい。
- 名産品を使った収穫祭。山形の芋煮会のようなお祭りの矢板市版。
- サッカーのまち
矢板市の3高校で協力してサッカーに関する催しに関わっていき、サッカーを中心に矢板市をもっと盛り上げていきたい。
- イベントなどで、音楽に関係した催しに参加していきたい。



テーマ② 矢板市にやってほしいこと

【まちづくりの方向性】

- 街のブランドづくりをし、イメージを上げる。
- 人口がどんどん減るのが不安。「ユニークな保育園」など、矢板で子育てしたい!と思ってもらえる施設がほしい。
- 希望が持てる街づくりの推進。
- 近所の仲が良いまち。
- 街中の空き地・空き家を有効に使ってほしい(多すぎる!)
- SHARPのような企業を矢板に呼んで就職場所を増やしてほしい。

【商業・娯楽施設関係】

- 街中に若者向けのお店を増やしてほしい。
- ファミリーレストランや飲食店の増設。
- 大型店や雑貨屋の設置。
- 映画館等がほしい。
- (駅周辺に) カフェやコンビニ、カラオケ店がほしい。

【丁寧な情報伝達】

- 矢板市が何をやっているのか、知らない。高校生に届いていない。是非知らせてほしい。



【駅前・駅周辺関係】

- 駅前がきれいじゃない。またきれいなベンチを増やすなど、バス利用者にも気を遣ってほしい。
- 街の玄関である駅周辺をもっと整備してほしい(特に矢板駅東口の空き地)。
- 電車の停車時間に、送迎の車でロータリーが渋滞するので対策してほしい(高校行きのバスが停車所に行けなくなり、遅刻したことがある)。
- 矢板駅の西口はイルミネーションなどを工夫しているが、東口は寂しい。

【体育・文化施設関係】

- フットボールセンターを矢板の中高生が無料で使用できるようにしてほしい。
- タータンの陸上競技場を作してほしい。
- 2万人規模のスポーツやコンサートができるスタジアムがほしい。
- アウトドアブームなので、今風のキャンプ場がほしい。
- 文化会館の復旧。
- 学習できる場所(廃校の利活用)。

【道路・交通関係】

- 歩道が狭いので広くしてほしい(自転車通学が大変です)。
- 夕刻の道が暗く、通学が大変です。街路灯を増やして明るくしてほしい。
- 歩道の雑草処理をお願いします。特に夏季は、通学に支障が出ます。
- 道路の段差、溝、穴などがあり、自転車通学の時に自転車が溝にはまって転んだ。自転車通学にも優しい道路整備もしてほしい。
- バスの運行を増やす。

【環境関係】

- ゴミのポイ捨てを減らすよう対策してほしい。
- 矢板市内に緑を増やしてほしい。
- バリアフリーの豊富なまち。
- 内川の浚渫工事(河道掘削)をして、洪水対策をしっかりしてほしい。

参加した皆さんの感想・自由意見

- 意見交換をする前は緊張していましたが、矢板市の話をしていくうちに盛り上がりとても楽しい時間でした。
- 矢板市をより良くするために努力する姿が見れて良かったです。
- 自分では思いつかないことが、たくさんできて楽しかったです。出てきた案が実現できたらうれしいです。
- これからの矢板市が良くなるように、矢板市民として地域に貢献していきたいです。



高校生と矢板市議会との意見交換会



～いただいたご意見は、大切に扱っていきます～



STEP 01 報告書を市長に提出しました。

「高校生と矢板市議会との意見交換会」の内容、いただいたご意見等については報告書としてまとめ、12月10日、市長に提出しました。

報告書は、市議会ホームページでもご覧いただくことができます。



STEP 02 意見の内容を全議員で確認しました。

市長へ報告書を提出したのち、全議員で、いただいた意見の内容を再度確認しました。

その上で、意見を参考に、常任委員会を単位とする分科会の研究テーマとすることに決定しました。



STEP 03 調査・研究を進めていきます。

各分科会の研究テーマとしたものは、今年度中を目途に調査研究を進めていきます。



STEP 04 研究結果をカタチにします。

調査研究の成果などはホームページに掲載するなど何らかのカタチで報告する予定です。

皆さまの声をチカラに、声をカタチにできるよう、議会一丸となり取り組んでまいります。

【詳細QR】



第365回 12月定例会 (11月27日～12月10日) の審議結果

議案番号	件名	議決結果
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙について	選挙
議案第1号	令和2年度矢板市一般会計補正予算(第7号)	全会一致で 原案可決
議案第2号	令和2年度矢板市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第3号	令和2年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
議案第4号	令和2年度矢板市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
議案第5号	矢板市公告式条例の一部改正について	
議案第6号	矢板市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	
議案第7号	矢板市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	
議案第8号	矢板市国民健康保険税条例の一部改正について	
議案第9号	矢板市税外収入金にかかる督促手数料及び延滞金徴収に関する条例等の一部改正について	
議案第10号	矢板市営駐車場条例の一部改正について	
議案第11号	矢板市児童館設置及び管理条例の廃止について	
議案第12号	矢板市デイサービスセンター設置条例の廃止について	
議案第13号	矢板市子ども未来館の指定管理者の指定について	
議案第14号	矢板市学童保育館及び泉はつらつ館の指定管理者の指定について	
議案第15号	木幡北山はつらつ館の指定管理者の指定について	
議案第16号	矢板市八方ヶ原交流促進センターの指定管理者の指定について	
議員案第1号	矢板市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	
議員案第2号	防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書	

【詳細QR】



議案をこのように審査しました。

委員会 審査 レポート

注目議案はコレ!!



PICK UP
1

掲示物が見やすい環境に変わります。

議案第5号から

現在、市役所、泉・片岡公民館の3か所にある掲示場に行政文書を掲示していますが、これを市役所の1か所に集約します。今後、泉・片岡公民館の窓口に置いて閲覧できる方式に変更され、さらに、市総務課でも閲覧できるようになります。このため4か所での閲覧が可能となり、手にとって見やすくなるため、利便性が向上します。閲覧期間はおおむね1か月です。



市役所西側にある掲示場

委員会コメント

市民にとって、できるだけ見やすい掲示場を望む。また、行政のデジタル化を進める動きもあるので、電子掲示板なども検討いただきたい。

PICK UP
2

山の駅たかはらのさらなる交流促進へ。

議案第16号から

八方ヶ原交流促進センター（山の駅たかはら）は、4月から「たかはらの森管理グループ」が新たに指定管理者になります。この事業者からは、レストランメニューの一新やアウトドアレジャー施設の整備、ツリークライミング、山の駅と県民の森を結ぶ自転車大会の企画など、さまざまな取組が提案されました。



八方ヶ原交流促進センター（山の駅たかはら）

委員会コメント

ツツジの咲く季節など観光客が多く来訪する繁忙期については開館時間を延ばすなど、運営に当たっては指定管理者としっかり協議していただきたい。

総務厚生常任委員会

◎櫻井恵二 ○中里理香 石塚政行 神谷 靖
伊藤幹夫 石井侑男 中村久信

令和2年度矢板市一般会計補正予算（第7号）

概要 歳入歳出にそれぞれ2億9660万円を追加計上し、予算総額を181億2430万円に補正するもの。

令和2年度矢板市介護保険特別会計補正予算（第2号）

概要 歳入歳出にそれぞれ2647万5千円を追加計上し、予算総額を32億9052万1千円に補正するもの。

令和2年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

概要 歳入歳出にそれぞれ2425万円を追加計上し、予算総額を38億3009万3千円に補正するもの。

令和2年度矢板市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

概要 歳入歳出にそれぞれ1300万円を追加計上し、予算総額を4億1682万4千円に補正するもの。

議案書や提出議案に関する説明書など、定例会に関する資料については、市議会のホームページで公開しています。

議案第5号

矢板市公告式条例の一部改正について

概要 市民が掲示物を閲覧しやすい仕組みを作ることに伴い、3箇所の掲示場を1箇所に集約するため、条例の一部を改正するもの。

議案第8号

矢板市国民健康保険税条例の一部改正について

概要 地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたこと等に伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第9号

矢板市税外収入金にかかる督促手数料及び延滞金徴収に関する条例等の一部改正について

概要 地方税法の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第11号

矢板市児童館設置及び管理条例の廃止について

概要 矢板市子ども未来館の設置に伴い、矢板東児童館を令和3年3月31日をもって廃止するため、条例を廃止するもの。

議案第12号

矢板市デイサービスセンター設置条例の廃止について

概要 公共施設再配置計画に基づき有償譲渡することに伴い、片岡デイサービスセンターを令和3年3月31日をもって廃止するため、条例を廃止するもの。

議案第13・14・15号

- ・矢板市子ども未来館の指定管理者の指定について
- ・矢板市学童保育館及び泉はつらつ館の指定管理者の指定について
- ・木幡北山はつらつ館の指定管理者の指定について

概要 公の施設の指定管理者の指定について、法の定めるところにより、議会の議決を求めるもの。

経済建設文教常任委員会

◎藤田欽哉 ○高瀬由子 掛下法示 佐貫 薫
関由紀夫 小林勇治 宮本妙子 今井勝巳

議案第10号

矢板市営駐車場条例の一部改正について

概要 片岡市街地整備事業に伴い、JR片岡駅周辺の市営駐車場の配置等について見直しを行った結果、片岡駐車場を廃止することとしたため、条例の一部を改正するもの。

議案第16号

矢板市八方ヶ原交流促進センターの指定管理者の指定について

概要 公の施設の指定管理者の指定について、法の定めるところにより、議会の議決を求めるもの。



請願・陳情は、こんな方法で

請願・陳情は、市民の皆さまの要望を市政に反映させるための制度です。請願書・陳情書を提出する方は、この要領でご持参ください。

様式

・用紙サイズはA4版。右の様式に準じて日本語で作成してください。

内容

・簡単な趣旨、理由、提出日、請願者（陳情者）の住所、氏名を記載し、押印の上、ご提出ください。
※請願書には、必ず1人以上の紹介議員（矢板市議会議員）の署名、または記名押印が必要です。
陳情書には紹介議員は必要ありません。
※道路や水路等の場合は、地図の写しや略図を添付してください。

受付

・定例会（3月、6月、9月、12月）開会日の10日くらい前までにご提出ください。
市役所が閉庁のときを除き、いつでも受け付けています。
・必ず議会事務局職員にお渡しください。

<p>請願書様式</p> <p>(表紙) ○○○○に関する請願書</p> <p>紹介議員 氏 名 ⑥</p> <p>(内容) 件名 ○○○○に関する請願</p> <p>要旨 ……………</p> <p>理由 ……………</p> <p>地方自治法第124条の規定により、上記の請願書を提出します。</p> <p>年 月 日</p> <p>請願者(代表)</p> <p>住所 ……………</p> <p>氏名 ○○○○ ⑥</p> <p>(連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。)</p> <p>矢板市議会議員 様</p>	<p>陳情書様式</p> <p>(表紙) ○○○○に関する陳情書</p> <p>(内容) 件名 ○○○○に関する陳情</p> <p>理由 ……………</p> <p>年 月 日</p> <p>陳情者(代表)</p> <p>住所 ……………</p> <p>氏名 ○○○○ ⑥</p> <p>(連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。)</p> <p>矢板市議会議員 様</p>
---	---

お問い合わせ先：議会事務局
TEL：43-6216

【詳細QR】



市勢発展のために！ 「一般質問」報告

市政を 問う。

11/30

ただ
市政の課題や将来の展望について質す一般質問。
12月定例会では、5人の議員が質問をしました。
「矢板を良くしたい！」
各議員の熱い思い、ご一読ください。



神谷 靖 議員



【今回の質問】

1. 社会のデジタル化について
2. 冬季の新型コロナ対策について
3. 電子図書館について
4. ICTを活用した教育の推進について

社会のデジタル化への市の取組みは？ 遠隔授業で教育先進のまちづくりを！

質問

政府は社会のデジタル化を加速しており、①2年間で全市民がマイナンバーカードを保有するための取組みと、②デジタル格差防止への取組みについて見解を伺う。

答弁

①マイナンバーカード取得推進のため、「企業等一括申請」を福祉施設や高等学校などにも案内している。また月一回、土曜午前中の「休日窓口」を開設した。「自治体ポイント制度」を調査・研究し、カード普及を図っていく。
②政府の「デジタル格差対策」の動向を注視し、高齢者や障がい者、生活困窮者などに格差が生じないように取り組んでいく。

質問

ICT活用とスクールサポーターの支援により、ウィズコロナ時代の新しい遠隔授業モデルを構築して、子育て・教育に先進するまちづくりについて見解を伺う。

答弁

9月に1人1台のタブレット端末配備が完了した。オンライン授業の計画的な試行運用で、デジタル教材や電子図書の効果的な活用を確認していく。また今年度中に遠隔授業の試行も予定している。遠隔授業の活用を重ねて、矢板モデルを確立していく。ICT教育等により学習環境の充実を図って、本市の人口増加、地域活性化につなげていく。



掛下 法示 議員



【今回の質問】

1. 新型コロナウイルス感染症について
2. あき地の環境保全に関する条例について
3. 矢板市の総合的公共交通体系について
4. 新婚生活補助金制度の活用について
5. 申請に係る印鑑使用の廃止について
6. 選挙に係る改善について

矢板市の総合的交通体系について問う。 空き地の環境保全に関する条例について問う。

質問

高齢者の運転事故意識の高まりで、免許返納が増加している。返納するとその途端に生活に支障が出るので、地域公共交通の強化が必要。基幹交通としての定時路線バス運行、交通空白地域のデマンド交通等の総合的公共交通体系が必要である。今後の市の総合的公共交通について伺う。

答弁

今後はデマンド(予約交通)方式と市内循環路線バス、行政区等の地域住民が主体となり運行する地域共助型生活交通、スクールバスの有効利用を組み合わせた交通の構築を検討している。

質問

空き地・空き家の草刈り・立木放棄地は、防火・防犯、交通、害虫の問題となる。現在、市から適正管理通知を送付しても、地主が無視しているところが住宅地で毎年15か所程度発生している。市としての対応と、何度指導しても無視する地主に対しては、過料等の罰則規定の追加についてを伺う。

答弁

引き続き管理不良な所有者に対して、助言・指導を実施する。罰則規定の追加は、個人の財産権に関わることであり、個人の不利益になる内容に当たるため、十分な検討が必要なことから、当面実施予定はない。



伊藤 幹夫 議員



【今回の質問】

1. 環境都市矢板市における地球温暖化対策について

COOL CHOICEへの取組みの現状と推進について問う。 温室効果ガス削減目標等について問う。

質問

温暖化対策として国が進めるCOOL CHOICEに呼応してCOOL CHOICEとちぎがオールとちぎで推進されているが、環境都市宣言矢板市としての現状と今後の取組みについて伺う。

答弁

「COOL CHOICEとちぎ」の関連記事の「広報やいた」への掲載や、地球温暖化に関する親子向け体験型講座を実施している。今後も制度の周知促進に努め、温室効果ガス削減に向け、国県の施策への取組みを積極的に行っていく。

※COOL CHOICE:地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動

質問

①栃木県の2030年度温室効果ガス削減目標は、国と同じ26%とされているが、矢板市の削減目標と具体的な取組みについて、②温室効果ガス排出量ゼロに向け環境省において推進し、県北では矢板市以外の3市2町でゼロカーボンシティ宣言をしているが矢板市としての取組みについて伺う。

答弁

①国県と同じであるものと考え、2030年度の26%削減目標を重く受け止め、国県と連携を図り、市民と共に削減に努める。

②県と既に表明している市町と連携を図り、宣言に向けた取組み・施策について検討する。



高瀬 由子 議員



地域コミュニティスクール故郷学級を！ Yaita All Directionsや学生による矢板活性化を！

質問

小学校は人間関係を構築し故郷愛を醸成する地域コミュニティの核となっている。コミュニティスクールで多世代が交流できる「ふるさと学級」を行い、大人、子ども双方向の「学びの場」を作ることをご提案する。

答弁

地域学校協働活動事業を生涯学習推進計画の重点事業として取り組む。コミュニティスクールの設置は地域住民の皆様の創設意欲を考慮して進める。従来の学校支援活動にとどまらず、多世代が交流できる「学びの場」を地域と共に作り、ふるさとに愛着と誇りを持ち、地域の絆と未来に向けた人づくりに努めていく。

【今回の質問】

1. 「お手伝い」推奨運動
- 「心の教育で愛のあるまち矢板」へ
2. 「地域コミュニティ・スクールふるさと学級」設置
- 「生きがい日本」をめざして
3. Yaita All Directionsや学生による矢板活性化
- 「魅力ある矢板」再発見

質問

コロナ終息後のV字回復に向け、効果的なPRをしていく必要がある。Yaita All Directionsや学生の皆さんに矢板市の魅力をSNSで発信していただき、矢板活性化につなげることを提案する。

答弁

高校生団体Yaita All Directionsは「ふるさと支援センターTAKIBI」での定例会、花火大会での出店、グルメマップの作成・配布を通じ矢板市の魅力発信を行ってきた。「Twitter」「Instagram」を中心に活動について発信している。団体紹介動画作成後「YouTube」で公開する。今後もYaita All Directionsが矢板の魅力発信や活性化につながる活動ができるよう支援する。



中村 久信 議員



学校適正配置に係る就学先の変更について問う。 小中学校適正配置計画の見直しについて問う。

質問

小中学校適正配置計画第一期の対象となっている学校区について、来年度から新入学生及び在校生の統合先への就学を認めるとした。このことによって、子どもや保護者同士、家庭内や地域での分断、子どもの更なる人数の減少、12月中とされた申請期限による混乱や不安など、悪影響について当局の考えを伺う。

答弁

集団の中で資質や能力を伸ばす学校教育の特質上、適正規模に満たない学校の児童生徒について、申請に基づき認めることとした。登下校は親の責任としていることから、多くの学区外就学者は想定していない。

質問

小中学校適正配置計画について、公共施設再配置計画や学校適正配置検討委員会答申との整合性の問題や、急な通学区の変更による不安や混乱など、多くの問題を含んでいる。従って、その実施プロセスや時期の見直しが必要であり、当局の考えを伺う。

答弁

現在、第一期の対象となっている小中学校区ごとに保護者や地元説明会を行っている。大変厳しいご意見も頂戴しているが、地区ごとの課題に丁寧に耳を傾ける一方で、市としての計画策定に当たっての想いや考えを引き続きしっかり伝えていく。

【今回の質問】

1. 小中学校適正配置について

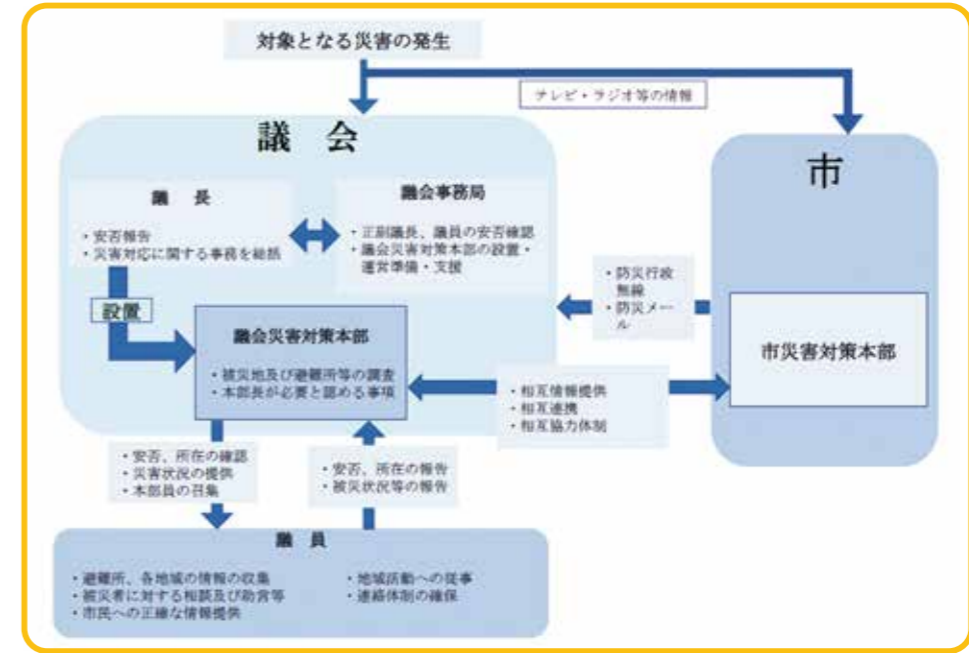
矢板市議会ニュース

矢板市議会業務継続計画(BCP)を策定しました。

矢板市議会において、非常事態が発生した場合にも市議会機能を維持し、迅速で適切な対応をとるため、令和2年12月に、矢板市議会業務継続計画、いわゆるBCPを策定いたしました。

災害対応マニュアルを補完・発展

本計画は、平成25年5月に策定した、災害対応マニュアルを補完、発展させ、自然災害だけでなく、新たな感染症の流行時なども含めて、緊急事態が発生した際に、市議会機能の早期回復とその維持を図り、迅速で適切な対応をとるため、必要な事項を定めております。



三編構成で対応

一口に緊急事態への対応と言っても、地震や風水害など自然災害への対応と、新型コロナウイルスなど感染症への対応とは全く異なります。そのため、本計画は三編構成とし、本編のほか、具体的な対応については地震・風水害等対策編と感染症対策編とに分けて、それぞれの場合における議員の行動基準を定めております。

計画の見直し

本BCPは、いかなる状況においても、市議会としての必要な機能を果たすための手段の一つであり、日々発生する新たな問題を把握し、分析した上で、継続的に改善していくことが極めて重要であると考え、必要に応じて改定する方針としております。

【詳細QR】

